

健康寿命を延長する取組推進 (たばこ対策)事業実績

資料5

1) 市町村の既存事業における禁煙支援リーフレットの活用

保健所実施のイベント(世界禁煙デー等)や
市町村の特定健診やがん検診等で約3,900部配布予定
(2月末時点)



【リーフレット活用市町村】

橿原市、御所市、生駒市、香芝市、宇陀市、斑鳩町、安堵町、
川西町、三宅町、上牧町、広陵町、大淀町、下北山村(計13市町村)

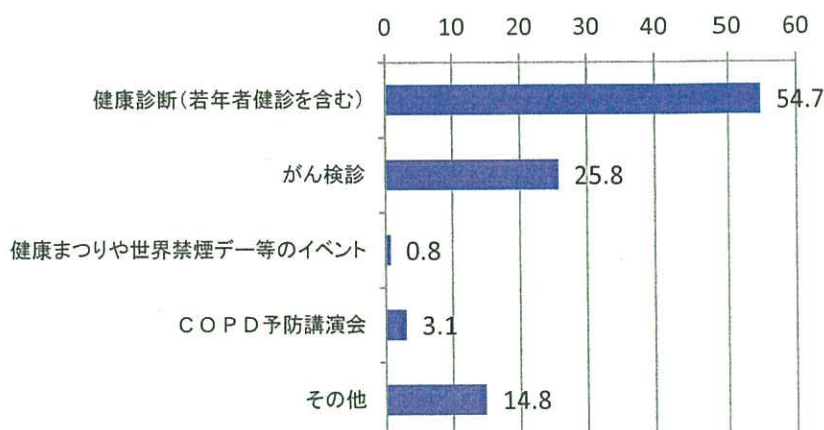
2) 禁煙支援リーフレットの効果検証調査

禁煙支援リーフレット配布者のうち、同意が得られた者(272名)を対象に、禁煙支援リーフレットの効果検証調査を実施。

- ◆調査期間:平成27年12月25日～平成28年1月15日
- ◆調査方法:郵送配布・郵送回収。無記名方式。
調査期間中に礼状兼催促状を1回送付。
- ◆回収数:128/272 (回収率:47.1%)

	回答者数	割合
御所市	8	6.3
生駒市	2	1.6
香芝市	8	6.3
安堵町	25	19.5
川西町	24	18.8
三宅町	29	22.7
上牧町	1	0.8
広陵町	20	15.6
大淀町	11	8.6
合計	128	100

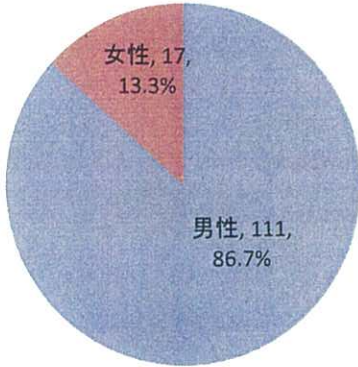
禁煙支援リーフレット 配布場所



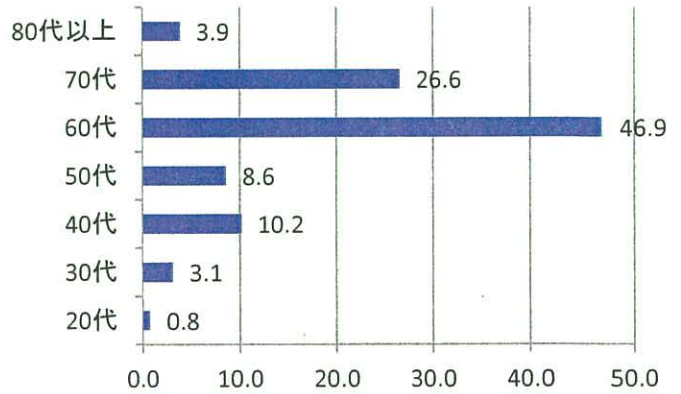
禁煙支援リーフレットを配布された場所は、健康診断54.7%、がん検診25.8%

◆禁煙支援リーフレット効果検証調査結果の概要について

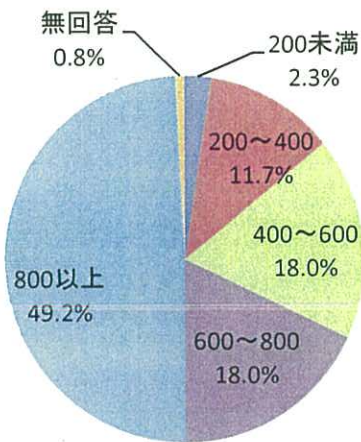
回答者 性別



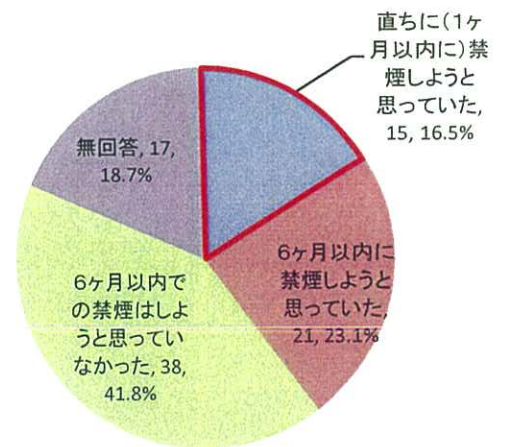
回答者 年代別割合



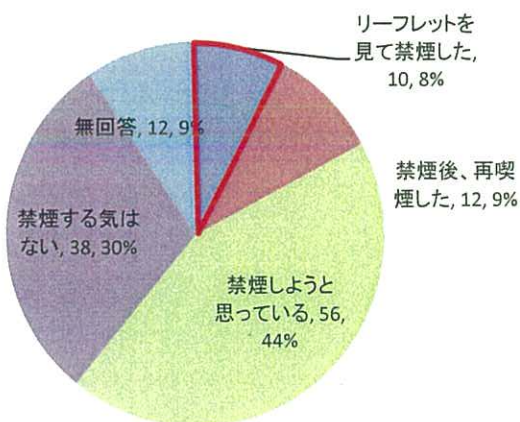
回答者 ブリンクマン指数



回答者の禁煙意向



回答者の喫煙状況



○回答者は、男性が86.7%と多く、年代は60～70代で73.5%を占めている。

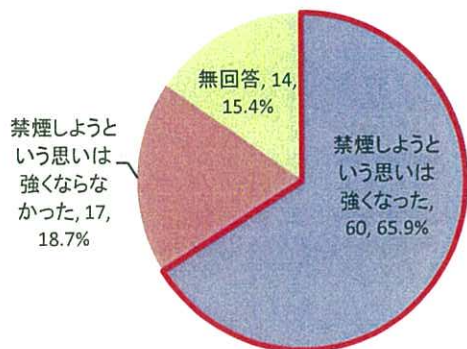
○ブリンクマン指数は、800以上が49.2%と最も多く、ヘビースモーカーが多い傾向。

○1ヶ月以内に禁煙しようと思っていた16.5%とたばこをやめようと思っている人は少ない。

○禁煙支援リーフレットを見て禁煙した人は7.8%。

※禁煙後再喫煙した人には、リーフレット配布前に禁煙した人も混在しており、リーフレットの効果を算定不可。

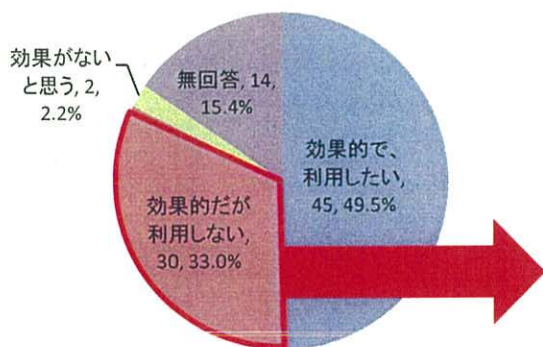
リーフレットによる禁煙意向の変化



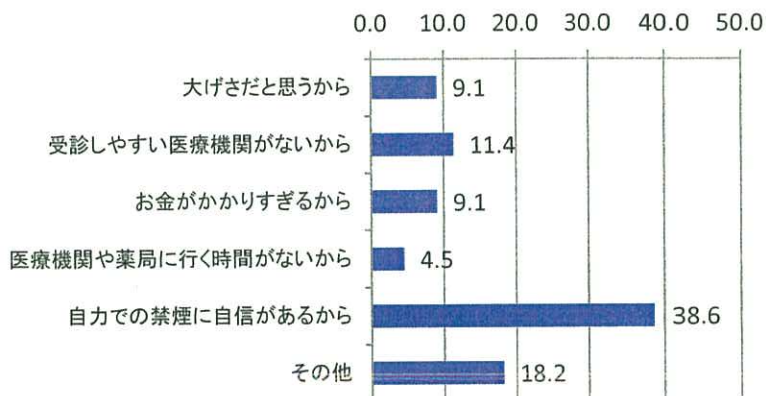
禁煙支援リーフレットの内容以外に知りたい情報



禁煙治療に対する認識



禁煙治療を利用しない理由



○禁煙支援リーフレットを見て、65.9%の人が禁煙しようという思いは強くなったと回答。

○禁煙支援リーフレットの内容以外で追加で知りたい情報としては、「禁煙治療の費用」「薬局の禁煙補助薬」「禁煙治療の期間」がやや多い。

○禁煙治療については、約半数が「効果的と考え、利用したい」と回答する一方、33%が「効果的だと思うが、利用しない」と回答。利用しない理由としては、「自力での禁煙に自信があるから」が38.6%と最も多くなっている。